

函館支部学童保育分会が総会 目標もち仲間を増やすとりくみへ

函館支部学童保育分会は12月10日に第13回総会を開き、1年間の活動のまとめをおこなうとともに、学童保育の充実と指導員の労働条件改善など要求実現のとりくみと目標をもって仲間を増やす方針を決めました。この1年間の中で、全国学童保育部会に結集して全国情勢と課題を的確につかんで運動をすすめてきましたし、保護者といっしょに函館市の施策を充実させるためにとりくんできました。道労連や函労会議などとともに、自治体訪問活動や、渡辺分会長が参加したスウェーデンの学童保育視察の報告会、集会、指導員交流会をおこなってきました。

この総会にむけて函館市内の指導員に建交労への加入をよびかけました。加入者はまだいませんが「次の組合の会議には参加してみたい」「前向きに考えさせてほしい」という指導員などがいました。引き続き加入の訴えを強めることにしています。

なお、今年も道南各地の指導員に全国学童保育部会の「働くみんなの要求アンケート」を送りますが、北斗市・七飯町の指導員（公設公営で自治体の非常勤職員）には、学童保育の職員基準を緩和しようとしている国のうごきや、2020年度からの「会計年度任用職員」問題について知らせるニュースと独自のアンケートを同封することになっています。冬休み明けには学習会を計画しており、建交労への加入を呼びかける訪問活動もおこなう予定です。

函館運送支部が年末一時金妥結

函館運送支部は11月28日に年末一時金の第2回団体交渉で上積み回答を引き出し、翌日の11月29日に組合員集会を開いて妥結しました。妥結内容は、本採用が2.112か月分・468,144円（前年比+0.029か月分/15,934円）、58歳到達者が1.689か月分・418,426円（+0.023か月分/10,868円）、東京嘱託が1.689か月分+15,000円=399,660円（+0.023か月分/27,647円）、臨時従業員が1.478か月分+25,000円=246,762円（+0.02か月分+2,000円/6,168円）、60歳到達者=62,000円（前年同額）です。

全国青年部が総会～1日目は靖国神社へ

建交労全国青年部は12月1～2日に第20回定期総会を開きました。総会には全国から24人、道本部青年部から鈴木青年部長が参加しました。1日目は、中央本部の福富書記次長が案内役となり、靖国神社に行きました。これは、青年部委員会で「靖国神社という名前は聞いたことがあるけれど、実際にどんなところなのか見てみよう」ということになり、企画されました。隣接している「遊就館」も見学しましたが、戦争博物館であり、祀られている遺影がたくさんあり異様なものでした。参加者からは「いま戦争がない状態が大切だ」という感想がありました。2日目は中央本部会議室で総会の議事がおこなわれ、新年度運動方針では、女性部と共同のアンケートのとりくみ、反核トラックキャラバンにとりくみ2020年のNP T再検討会議（ニューヨーク）に全国青年部から複数の代表を派遣すること、青年の組織化と相互の交流を深めること、学習と青年部の強化などが提案され、討論では参加した全員が発言して、全会一致で採択されました。なお、新年度役員では、鈴木さんが事務局次長に選ばれました。